

政務活動一覽

議員名：入江 誠

年月日	活動先			政務活動の内容	関連領収書 番号
	住所	活動先の名称	対応者		
令和5年 7月3日 ～6日	青森県上北郡 六ヶ所村 秋田県男鹿市 秋田県南秋田 郡大潟村	六ヶ所原燃再処 理工場 六ヶ所原燃PRセ ンター 男鹿市役所 男鹿半島サイク ルコース 八郎潟（大潟村 博物館）	・日本原燃(株) 執行役員・理事 ・PRセンター ディレクター ・男鹿市長 観光課長、観光 協会事務局長 ・DMO 推進室主 査 ・大潟村議会議 長、教育長	・原子力の再利用に關す る知識の習得と現状把握 ・原子力再利用のシュミ レーションについて ・サイクルツーリズムの 現状と将来展望 ・認定コースの実際の試 走 ・八郎潟干拓の歴史と現 状把握	7-2
令和5年 7月24日 ～28日	モンゴル中央 県ズーンモド モンゴルウラ ンバートル	・ズーンモド日 本語学校 ・モンゴル日本 国大使館 ・中央県庁舎	・日本語学級の 生徒、教師 ・小林特命全権 大使、片野田三 等書記官 ・モンゴル中央 県知事、副知事	・日本語学級生徒による 日本語弁論大会聴講及び スポーツ交流 ・小林全権大使への表敬 訪問及びモンゴルの現状 についての意見交換 ・モンゴル中央県 100 周 年記念式典に出席	6-1 6-2 7-13

- ・交通費（JR等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

活動報告 (県外・国外)

議員名：入江 誠

活動事項	青森県・秋田県視察
活動年月日	令和5年7月3日～6日
場 所	<ul style="list-style-type: none"> ・六ヶ所原燃再処理工場 ・六ヶ所原燃 PR センター ・男鹿市役所 ・男鹿半島サイクルコース ・八郎潟 (大潟村干拓博物館)
活動の相手方	<ul style="list-style-type: none"> ・日本原燃 (株) 松田技術本部長 (常務執行役員) ・太田副本部長 吉田理事・中国電力鳥取支社長、副支社長同行 ・PR センター ■■■ ディレクター ・菅原男鹿市長、杉本観光スポーツ部観光課長、佐藤男鹿市観光協会事務局長 ・男鹿市観光協会 DMO 推進室 ■■■ ・大潟村議会丹野議長、北林教育長
活動の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・(日本原燃六ヶ所村再処理工場) ・原子力の再利用に関する知識の習得と現状把握 (六ヶ所原燃 PR センター) ・原子力再利用のシミュレーションについて (男鹿市役所) ・市長と直接お話をし、サイクルツーリズムの現状と将来性について議論する。 (男鹿半島サイクルコース) ・男鹿半島のサイクルコースを実際に試走し、メリットデメリットを探る。 (八郎潟・大潟村博物館) ・八郎潟干拓事業の歴史について学び、現状把握をする。
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・(日本原燃六ヶ所村再処理工場) ・再処理工場を視察し、高度な再処理技術の一端や安全対策・環境保護の取組などを理解することができた。 (六ヶ所原燃 PR センター) ・安全性への取組や環境への配慮、原子力産業の地域経済への影響などを展示物や説明によって理解を深めた。 (男鹿市役所) ・菅原市長と直接お話をし、サイクルツーリズムの現状と将来について理解を深めた。 また、鳥取県が目指すナショナルサイクリングルート指定に向けてヒントが掴めた。

	<p>(男鹿半島サイクルコース)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクル拠点の整備の必要性を感じるとともに、サイクリストが興味を持つコースの整備とイベント開催の必要性を感じた。 <p>(大潟村博物館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹野議会議長・北林教育長から八郎潟干拓の歴史や村の成り立ち干拓事業の現状についてお聞きし理解を深めた。
活動の結果等	<p>(日本原燃六ヶ所村再処理工場)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域経済への原子力産業の影響が、雇用の確保や地域経済の安定に貢献している実態を把握することができました。 <p>(六ヶ所原燃 PR センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生エネルギーや環境にも配慮した原子力の再利用について理解が深まりました。 <p>(男鹿市役所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菅原市長と直接サイクルツーリズムの現状と将来について議論することができ、自治体トップの思いが地域づくり推進に寄与する姿を垣間見ることができ、本県のナショナルサイクルルート指定に向けた取り組み項目についてヒントがつかめた。 <p>(男鹿半島サイクルコース)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的なサイクルイベント開催の必要性を感じた。 ・サイクリストが、また訪ねたくなるような自然豊かな魅力的なコースの設定が必要。 <p>(大潟村博物館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八郎潟干拓の歴史を学び、地域経済にとっての干拓事業の必要性と大規模圃場の大型機械の効率的作業の実態と用水事業の効率的運用について理解を深めることができた。
関連領収書番号	7-2

活動報告(県外・国外)

議員名：入江 誠

活動事項	モンゴルウランバートル・中央県視察
活動年月日	令和5年7月24日 移動日・宿泊 令和5年7月25日～27日 令和5年7月28日 移動日
場 所	モンゴルウランバートル市・モンゴル中央県庁舎
活動の相手方	・ズーンモド日本語学級の生徒・教師 ・モンゴル日本国大使館 小林特命全権大使 ・モンゴル中央県知事・副知事
活動の目的	・ズーンモドの日本語学級の生徒・教師と交流を深める ・モンゴル日本国大使館を訪問し、大使への表敬訪問とモンゴルの現状把握を図る ・中央県庁舎を訪問し、100周年記念式典参加と友好関係の強化を図る
活動の内容	(ズーンモド日本語学級) ・モンゴルの生徒による日本語の弁論大会を聴講及びスポーツ交流会に参加 (モンゴル日本国大使館) ・小林特命全権大使・片野田三等書記官を表敬訪問し、モンゴルの現状について意見交換実施 (モンゴル中央県庁舎) ・モンゴル中央県100周年記念式典参加し、本県亀井副知事とともに中央県知事、副知事に面会しさらなる友好関係強化について確認した。

<p>活動の結果等</p>	<p>(ズーンモド日本語学級の生徒・教師)</p> <p>日本語学級の生徒 10 人の日本語による弁論大会大会の審査員を経験。生徒たちの日本への憧れや将来の夢について上手に日本語を駆使して話す姿に感動した。</p> <p>スポーツ交流にも参加し、関係を深めることができた。</p> <p>本県の少子高齢化が進展する中で、モンゴル人材の確保は有効な政策ではないかと考える。</p> <p>引き続きの交流強化の必要性を感じた。</p> <p>(モンゴル日本国大使館)</p> <p>小林特命全権大使と意見交換が実施でき、モンゴルにおける地下資源開発やウランバートル市内の交通渋滞緩和の解消が日本にとって大きなビジネスチャンスになるのではないかと感じた。</p> <p>(モンゴル中央県庁舎)</p> <p>100 周年記念式典に参加し、引き続きの友好交流の必要性を感じました。</p>
<p>関連領収書番号</p>	<p>6-1・6-2・7-13</p>